

第6回国立大学法人奈良教育大学教育研究評議会議事要旨

1. 日時 平成22年 7月21日(水) 15時00分～17時45分
2. 場所 大会議室
3. 出席者 長友学長、中谷理事、宮崎理事、生田副学長、佐野副学長、藤田、伊豆蔵、岡澤、重松、瓜生、淡野、松井、安田、松川の各評議員
陪席者 藤巻監事、加藤副学長、和田学長補佐
事務局 秘書・企画課長、総務課長、会計課長、施設課長、教務課長、学生支援課長、入試課長
秘書・企画課副課長、秘書・企画課秘書担当係長

4. 議題

審議事項

- 1 平成23年度教員配置(採用・追加分)について
- 2 規則の制定等について
・国立大学法人奈良教育大学客員教員称号付与規則(案)
- 3 受託研究の受入について

報告事項

- 1 学部改組委員会中間まとめ及びセンター改組について
- 2 平成23年度概算要求シーリングへの対応について
- 3 平成23年度特任教員配置スケジュールについて
- 4 平成23年度概算要求及び運営上の諸課題等に係るヒアリングについて
- 5 大学院教育学研究科のDP及びCP(素案)について
- 6 奨学寄付金の受入について
- 7 附置委員会等からの報告について

その他

5. 議事

審議事項

- 1 平成23年度教員配置(採用・追加分)について
平成23年度教員配置(採用・追加分)について、配置検討委員会報告書に基づき説明があった。
審議の結果、配置数は「1」とし、技術教育専修栽培分野への配置について挙手により承認された。
- 2 規則の制定等について
・国立大学法人奈良教育大学客員教員称号付与規則(案)
客員教員称号付与規則案について説明があり、審議の結果承認された。
- 3 受託研究の受入について
受託研究の受入(1件)について説明があり、審議の結果承認された。

報告事項

- 1 学部改組委員会中間まとめ及びセンター改組について
学部改組委員会中間まとめ(案)及びセンター改組(案)について説明があり、意見を求めた。
なお、センター改組と学部改組は密接に関連することであり、関連する講座等にはしっかり説明した上で意見を求めたい。9月末までに学内合意をとる方向で進めたいと考えているとの補足があった。
- 2 平成23年度概算要求シーリングへの対応について
平成23年度概算要求シーリングへの対応について報告があった。
- 3 平成23年度特任教員配置スケジュールについて
平成23年度特任教員配置に係るスケジュール等について説明があった。
また、今回は厳しい財政状況を鑑み、配置数を抑制する必要があることから配置検討委員会規則

に準じてワーキンググループを立ち上げて配置計画を検討する旨の提案があり、異議なく了承された。

配置検討WGメンバーは以下のとおり。

岡澤、伊豆蔵、瓜生、松井、松川の各評議員及び生田企画担当副学長（座長）

なお、配置検討委員に各センター長を含めるかどうかの規則改正案について今回のWGで検討することとなった。

4 平成23年度概算要求及び運営上の諸課題等に係るヒアリングについて

文部科学省で実施された各ヒアリングの内容について報告があった。

5 大学院教育学研究科のDP及びCP（素案）について

大学院教育学研究科のDP及びCP（素案）について説明があり、意見を求めた。

なお7月教授会での意見等も踏まえた上で再度検討し、9月又は10月に提案する予定である旨補足があった。

6 奨学寄付金の受入について

2件の奨学寄付金の受入について承認された旨報告があった。

7 附置委員会等からの報告について

附置委員会等の議事内容について報告があった。

（追加報告）

・評議員からの報告

教授会議長に要望した旨を本評議会にも報告する。

教授会において、人事案件に関する人事委員会委員長の説明内容が不足していた。人事案件にかかる審議は教授会の重要項目であり、しっかりとした説明を求める。

・学長からの報告

7月教授会で、学部改組に係る教育課程等の重要項目で、特に教養教育、キャリア教育をどう進めていくかについて学長から説明する予定である。

平成23年度概算要求シーリングの8パーセント試算状況から、今後の教員配置は厳しいと考えている。教員が最も懸念することは研究費や給与の削減だろう。現時点では計画的執行によって現状維持しているが、今後の見通しは不透明である。